

新技術・情報名	ナシ幸水の簡易被覆栽培技術		
実施場所	三重県農業技術センター 園芸部	分類	※③

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

- ア. 簡易被覆と熟期促進剤とを組合せた新しい作型である。
- イ. 熟期は、被覆によって7~10日、熟期促進剤を併用すると15日~20日促進できる。
- ウ. 熟期促進剤は、GAペーストを満開後30日~40日に果こお塗布し、さらに満開後80日頃にエスレ102000倍~10000倍を散布する。単用処理をしてはよい。GAペーストに変るものとしてGA3液剤処理も有望である。
- エ. 被覆による病害排除効果が高く、被覆期間中は主要病害虫の発生はほとんどない。
- オ. 施設は、100㎡/10a当り前後で集約的貯温水分管理は必要がない。

2) 技術情報の適用効果

- ア. 早熟化による有理化
- イ. 作型設定による出荷期間の拡大と労力の分散。
- ウ. 雨除け効果による病害、裂果の防止と品質向上。
- エ. 省工省、省力型の被覆栽培。

3) 適用範囲

温暖多雨地域における、幸水を中心としたナシ産地。

4) 普及指導上の留意点

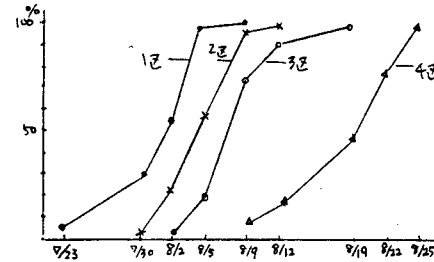
- ア. たばこの新梢が通繁茂となりやすいので、新梢管理を徹底する。
- イ. 被覆期間は3月上旬頃に開始し、5月下旬~6月中旬頃に除去する。サイドは4月下旬落花直後に除く、遅くまで被覆しておくと、早期落葉を助長する。
- ウ. 南花時期は、たばこの高温に注意し、30度以上にならないよう々換気に留意する。受粉が徹底するように人工受粉は必ず実施する。

2. 具体的データ

第1表 果実品質 (1983)

処理区	調査果数	果形指数	果比色(地色)	糖分(BX)	PH	硬度(Lbs)	果平均重(g)
1区 GA+エスレ	60果	118	3.8	12.3	5.32	4.62	346
2区 GA	60	115	3.2	12.2	5.36	4.45	372
3区 無処理	60	118	3.2	12.1	5.30	4.56	374
4区 露地	60	125	3.7	12.9	5.22	4.55	376
有意性	*	*	*	*	NS	NS	*

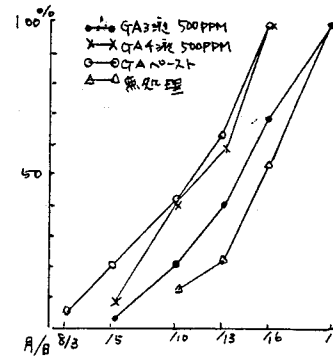
(各処理区が収穫最盛期調査)



第1図 果積収穫果率 (1983)

(注)

- たばこ被覆
- 3月30~5月16日 (1区)
- 3月30~6月30日 (2,3区)
- たばこ被覆 3月10日~4月2日
- GAペースト処理 5月20日
- エスレ処理 7月7日 2000倍



第2図 果積収穫果率 (1984)

第2表 主要病害の発病率(%) (1983)

場所	処理	主要病害		被覆期間	所除回数
		黒星病	赤星病		
農技	被覆	0.5	0.0	3/5~7/20	0
	露地	2.7	3.2		11
松坂	被覆	1.3	1.2	3/7~5/28	2
	露地	3.6	5.9		7
明和	被覆	2.0	1.8	3/9~6/15	5
	露地	17.5	12.7		12

注 所除回数は被覆期間中の殺菌剤の回数。

3. その他特記事項

幸水ナシの簡易被覆栽培に関する試験 (55~59) 果実